

陸上競技（短距離）プログラム報告 2015年8月8日（土）中村 泰雄

一旦咲くと七ヵ月間咲き続ける、花期の長い花が有ると聞きました。温室内で、温度や照明を調節した上でこうなるのではなく、例えば福祉村のジョギングコース沿いに咲いているというのです。その花の名はマリーゴールド。花期は四月から十月で、現在花盛りの真っ最中です。これは是非見てもらわなければ。と云う事で、今回のウォーキング中の植物観賞はマリーゴールドと決めました。目標の花壇は二か所。第一の花壇はウォーキングのスタートポイントから三百?足らずの所、ジョギングコースを挟んで八番トイレの向かいにある園芸ボランティアが管理する花壇で、第二の花壇はジョギングコースの1200メートル表示先に有る小さな花壇です。花壇の規模、花の豪華さなどから第一の花壇の方が圧倒的に優れているのですが、取り敢えず比較の為に第二の花壇も見てもらおうと云う事です。

配布プリントは何時も通りにB5の用紙を縦に使い、上辺中央に『マリーゴールド』と大書し、其の下にジョギングコースの200m付近に在る園芸ボランティアの花壇で咲いているマリーゴールドの画像を貼り付け、其の下から、名前の意味は「聖母マリアの黄金の花」で、花言葉は信頼、悲しみ、嫉妬、勇者、悪を挫く、生命の輝き、変わらぬ愛情、濃厚な愛情等で、全草に特有の臭気があるものが多く、4~10月にかけて、茎に継続的に新たな蕾が発生し、花が咲き続けることなどを書きました。

第一の花壇がウォーキングのスタートポイントから三百?足らずと近いので、私は大事をとって、ウォーキングのスタートを待たずに自転車で出発。そして花壇に到着して振り返ると、先頭のSS君が百メートル後ろのふれあい橋を渡って来るのが見えました。余裕は一分。危ない所でした。

待つほども無く到着した集団を花盛りのマリーゴールドの前に導いて、プリントの内容（↑）を手短かに説明して、五分弱で再スタートしてもらい、再び自転車で第二の花壇に向かい、花壇の横で、やって来たアスリート&ファミリーに『これもマリーゴールドですよ』と話して、そのまま通過してもらいました。そんな中から『同じ花とは思えない』とか『家庭の庭で見るのはこっちの方だよね』と云った意見が聞けました。

ウォーキングの後は50?を三本走り、その後1000m、800m、400mを各1本走ってタイムを取り、磯野コーチ指導の整備体操の後に十一時三十分、SS君リードのSON埼玉のエールを叫んで、真夏の陸上競技プログラムを終了しました。